

美馬市の **花** **木** **鳥** が決まりました



百日紅 (サルスベリ)



柳 (シダレヤナギ)



アカゲラ

市は、市のシンボルとなる花・木・鳥をそれぞれ「百日紅 (サルスベリ)」、「柳」、「アカゲラ」に指定しました (平成 19 年 3 月 19 日告示)。

シンボルは昨年 10 月、11 月に市が市民などを対象に公募。花に 99 通 19 種、木に 71 通 25 種、鳥に 69 通 21 種が寄せられました。市が設置した選定委員会 (佐藤一夫会長) で慎重な審議が行われ、2 月に同委員会から牧田市長に選定結果が報告されました。市はこの結果を尊重し、3 月市議会定例会において、これらを市のシンボルとして指定することを報告しました。

私たちの郷土を象徴するこれらのシンボル。みんなが愛着を持って育て、守っていきましょう。

32 年の歴史に幕 木屋平寮

近年、入寮者が減ってきたことなどから、平成 18 年度末で閉鎖されることになった木屋平中学校の寄宿舍「木屋平寮」一。3 月 23 日に閉寮式が行われ、寮生 8 人と同月 12 日に最後の退寮式を終えたばかりの卒業生 6 人、保護者、教職員ら約 40 人が出席。思い出がたくさん詰まった寮との別れを惜しみました。

式では土岐昭典校長、青木博美教育委員長らのあいさつに続いて、2 年間寮で過ごした立道雅也くんが「これからも寮で学んだことを生かし、家庭でも規則正しい生活を続け、勉強も頑張っていきます。私たちに



▲平成 18 年度末で閉鎖された木屋平寮

を大きく育てていただいたことに感謝します」とお礼を述べました。全員で寮歌を斉唱した後、三島茂教育長が閉寮宣言。32 年の歴史に幕を閉じました。

木屋平寮は、旧三ツ木、川井、木屋平の 3 中学校の統合を機に、1975 (昭和 50) 年に誕生。これまで延べ 1,568 人の寮生が生活してきました。閉鎖に伴い、4 月から遠距離通学生はスクールバスで通っています。



▲寮歌を歌う寮生たち